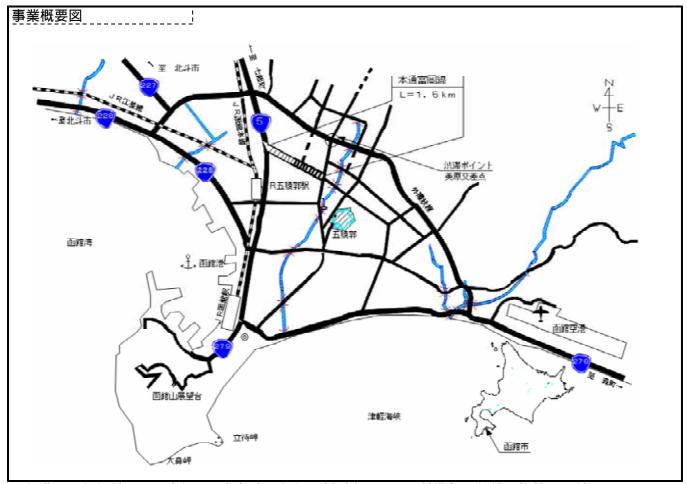
再評価結果(平成20年度事業継続箇所)

担 当 課:北海道開発局都市住宅課

担当課長名:小田島 聖

h							
事業名	ほんどおり)とみおかどおり		¦街路	事業	¦北海道	
	都市計画道路3.4.103本。通	富岡通	区分	1 !	主体	!	
起終点	自:北海道函館市昭和2	TH			延長	!	
~~~~	至:北海道函館市富岡 2				~~	1 . 5 k	m
車器畑田		J FI				1.50	411
事業概要」							
本通富岡通は、一般国道5号と放射4号線を東西連結し、環状機能を有する都市内の主要幹線道路で							
ある。本路線の完成により、恒常的な渋滞を招いている外環状線が交通分散され、都市内交通の円滑化							
が図られる。それにより主要観光地や周辺二次医療施設とのアクセス強化が図られる。							
H 1 0 年度事業化 S 4 8 年度都市計画決定 H 1 1 年度用地着手 H 1 4 年度工事着手 (H 9 年度変更)							
ムは事業		·	1 1	 92% 供用済延	=	. 0.9	1
全体事業			<u>I</u>	9 2 %   快用消型	: <b>区</b>	0.9	KIII
計画交通						T	
費用対效		<b>費用</b>		更益 (残事業)/(事業金		基準年	
分析結果	(事業全体)	2.7 / 35 億円		103 / 243 億	門	平成19年	
	7.0	事 業 費: 2.0/	33億円 走行	J時間短縮便益: 94/	218億円		
		推持管理費:0.68/1					
	38.1	四,500/1		通事故減少便益: 2.0/ 通事故減少便益: 2.0/			
成在八七		について成舟八七:		世争以例》(民主:2.0/	5.0尼门		
		について感度分析を		-\ <del>7</del> =			
	通量変動:B/C=7.7(ダ	-	•				
事	業費変動:B/C=6 .5 (事	業費+10%) B/C=	7.0(事	¥費-10%)			
事業の効果等							
・円滑なモビリティの確保(現道等における旅行速度の改善が期待される)							
・国土・地域ネットワークの構築(現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する)							
・個性ある地域の形成(主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる) 他 5 項目に該当							
関係する地方公共団体等の意見							
地元自治体より早期完成に向けて要望されている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
平成16年度に1工区(910m)を供用済み。							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
1 工区(9 1 0 m)は供用を開始し、その後の事業区間についても順調に推移しており、概ね予定通り							
実施している。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
	(910m)の供用が開始し		 地大沙女	まめてもり 会体	マ胆み	1日期併用を切ま	,
				5のでのり、 主体	·스间V	千朔洪州で主と	ر
	聞かれ、計画年次での完成	(ルー刀兄込よれる。	,				
施設の構造や工法の変更等 不良土の置き換えに他事業からの土砂を流用したり、再生骨材や再生アスファルト合材を使用し、資							
			、再生骨核	オや再生アスファ	ルト台	『材を使用し、賞	Ĩ
源循環の	促進によりコスト縮減を図	引っている。					
対応方針	事業組	続					
対応方針	決定の理由						
	状況を勘案すれば、当初か	いら事業の必要性 は	重要性けぬ かんりょう かんしゅう かんしょう かんしょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん しゅうしゅう しゅう	うわらないと考え	られる	,	
事業概要		フテ米の石文は、:	<u> </u>	217 5 60 1 2 370	J 100	0	
尹未似女	'						



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。